

## 平成 26 年度 はあもにい共生型事業報告

項目	主な概要
運営方針及び目的	「はあもにい」を核とした様々な企画により、高齢者や児童、障がいを持った方々が互いに交流したり、地域住民との交流の機会を増すことで、豊かな地域生活を目指す。
ご近所野菜市	<p>8月初旬～9月末の毎週火曜日・金曜日に開催</p> <p>出店者は地域の高齢者と障害者施設の団体が1回平均 6店舗ほど出店し、平均3万円程度の売り上げがあった。3年目の企画でもあり、楽しみに訪れる方も増えたが、高齢者の単身世帯が多い公営住宅地区でもあることから、同じ場所での週2回の開催は少し多いのではとの声に、今年度は金曜日を「ななかまど」横の広場を活用して行った。</p> <p>「ななかまど」横での野菜市は当初認知されるまで時間がかかり、回を増すごとに利用客が増したが、人の流れを見ると次年度は開催時間を午前10時～12時頃が良いかと思われる。</p>
学童企画事業	<p>夏の学童企画として、手作りスマートボール工作体験を実施。9名の学童が参加し昼食は外で「ジンギスカン」を味わう。工作補助や昼食サポートとして高齢者等が援助。</p> <p>冬の学童企画として、「モザイクアート」を実施。9名の学童が参加し、思い思いのデザインで個性豊かなモザイクアートを仕上げていた。昼食は、手作りオムライスに子供達の笑顔も多く見られる。</p> <p>今年度も参加希望者を見ると、2度目以上の方が多く見られ新規の学童が少ない。次年度は新規の学童を増加させる試みが必要。</p>
ほっこり地域食堂	<p>毎月1回の開催を行う。主催はNPO法人「御用聞きわらび」が実施。わらび主催では1回40名程の参加者があり、季節の味と楽しい会話のほか、歌声喫茶風や読み聞かせなど工夫を凝らした企画で参加された高齢者には好評である。</p> <p>その他、「ほっこり調理体験」として高齢者が講師となって春には「山菜調理体験」や「夏野菜の加工」などを実施。また障がい者の調理体験として、ポプリ主催で11回・はまなす主体で10回を実施した。自分の手で調理する喜びは食に向かう心と体を豊かにし好評である。</p>
サークル活動他	各種団体の会議やミーティングで活用 150件述べ 1513名